

## 令和五年度 3学期 終業式 式辞

昨年4月に生徒のみなさんと初めて顔を合わせてから1年があったという間に過ぎました。私は始業式の挨拶で、「これからは、マスクなしの皆さんの笑顔を見られることをうれしく思います。皆さんは、生徒98名、教職員38名の『チーム穴高』の主力メンバーです。一人一人に重要な役割があります。思い切り、高校生活を楽しみましょう。」と述べました。

皆さんは私の期待以上に、学習、部活動や探究活動に一人一人が全力で取り組みました。また、6月の高校総体・総文、修学旅行、7月の球技大会、8月の穴高祭、10月の体育祭等の大会や行事では、皆さんの歓声と弾ける笑顔を見ることが出来ました。特に穴高祭は数年ぶりに本校校舎で開催し、訪れた同窓生、保護者や地域の方々にも楽しんでいただけたと思います。

こうして学校はほぼコロナ前の活動を取り戻し、「さあこれから新たな出発だ」と全校生徒が感じていました。

しかし、我々にまた新たな試練が訪れました。1月1日の午後4時10分、平穏な日常が一変したのです……

1月22日から穴水中学校で学校を再開し、今日でちょうど2ヶ月が過ぎました。今もなお、自宅から離れ避難所や仮設住宅等で生活している生徒や、自宅からの交通手段がなく登校できない生徒もいます。そのため、対面で授業を受けられた生徒とリモートでしか参加できなかった生徒がいます。

この2ヶ月間、学習の場を提供していただいた穴水町と穴水中学校、毎日避難所から炊き出しを提供してくださった東さん、女子生徒を中心に多くの物資を提供してくださったコラボさん、ドーナツを持ってきてくださった星稜大学の学生の皆さん、その他同窓生等からも多くの義援金をいただいています。支えてくださった方々への「感謝」の気持ちを忘れずに、新年度からの皆さんの頑張り<sup>ごんばり</sup>で恩返しをしていきましょう。

今日で令和5年度が終了します。これまで経験したことない未曾有の災害が我々の住む能登を襲いました。4月から由比ヶ丘<sup>ゆいがおか</sup>の校舎へ戻りますが、完全に災害前の状況に戻ることは難しいでしょう。今後も色々と不便な状況は続くと思います。

しかし、「止まない雨はないし、明けない夜もない。」と言います。生徒の皆さんには、決して希望を捨てず、負けない強さを持ってほしいと思います。必ず明るい未来が待っていると信じて。

これからも「チーム穴高」で生徒の皆さんと教職員が一丸となって前に進んで行きましょう。